

みんなの文芸



俳句

ことぶき俳句会

指先をポケットに入れ凍てる鍵
昨夜の雪ただ只白き寺の屋根
飾り獅子箱より出して春を待つ
役場まで行く日帰る日冬夕日
初雪の人に寄りくる狐痩せ
ししゃも焼く靴下少し濡れたまま

稲田 文江
大山みどり
長谷川アキ
福原 仁子
山村 幹雄
高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

冬仕度遅れたぶんだけ腰にくる
走ること忘れてしばし杖が友
名月を夫に置きかえ語り居し
貫禄と弟の髪反比例
予科練がオーバーストップ戦拳権
風呂敷に小さな俵せ包む冬

星 愛子
加藤 未貴
橋本 葉子
大山 弐
山村 幹雄
阿部 麗紅

川柳

上浦幌句の会

賑やかに盛り上がる輪に笑いあり
太陽は光り差す先選ばない
法話聞き健康寿命に感謝す
幼な友友情電話幾年も
もちもちと食した子らも今は親
年の瀬や二三歩あるいて日がくれる
お年玉嬉しい悲鳴のひ孫八人
義姉が発つ終の住処となる福岡へ
北風の強き寒さが身に染みて
寒風の身をよせ合つて雀かな

高橋 幹雄
笹島カヨ子
河村みよ子
芳川 乙美
加藤 明敏

短歌

心友愛会

朝早く太陽をあびて深呼吸
今年一年健康で行こう
孫が来てお好み焼きで丸くなり
テーブル囲みみんなが笑顔で
年明けて初めて会った会の人
皆んな元気で笑顔あふれる
今年又一人暮しの寂しさに
会の皆んなに会うのが楽しい
水つく雪道歩く気をはりて
体の硬さほぐせぬままに
家の中鉢うえ花が咲き誇る
我を癒して冬の日過ぎる
友と焼くかぼちゃ団子の焦げ目
笑顔で話す又会う日まで
眠れぬ夜指折りおりて短歌読む
纏まらずまま朝日めに染む
亡き友の名を小声で呼んでみる
カタコト風の音聞きながら

中田 麗子
山岸 明美
小川 房子
小澤 つや
前川 静江
山久保敬子
浅野 京子
佐藤 成子
星 愛子

編集後記

■1月10日の浦幌町成人式は、今年も美しい晴れ着を着た若者たちが再会を喜び、笑顔にあふれたひとときになりました。毎年このことから、成長した子の姿を見つめる家族の嬉しそうな顔を見て、取材しているこちらまで心が温かくなります。

■今年十勝太く厚内の海岸からの初日の出が素晴らしい美しさで、町のホームページにアップした写真も好評でした。トップページ右側の「まらの話題一覽へ」から今後も見ることが出来ますので、ぜひご覧ください。

■インフルエンザが町内でもはやり始めたとの事。皆さん、うがい、手洗いを励行し、健康に留意して冬を乗り切りましょう。

(大)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。